

四つのテスト I 真実かどうか II みんなに公平か III 好意と友情を深めるか IV みんなのためになるかどうか

KADOMA ROTARY Club Weekly Bulletin



門真ロータリークラブ

事務所 〒570-0038 守口市河原町 10-5 ホテル・アゴーラ大阪守口 5F

TEL 06-6993-0107 FAX 06-6993-0108 E-mail office-kadoma@silk.plala.or.jp

例会 毎週木曜日 12 時 30 分 於 ホテル・アゴーラ大阪守口

会長 辻岡 昌美 幹事 玄野美紀子 会報広報委員長 橋田 真和 創立 1969 年 4 月 17 日

UNITE FOR GOOD

2025-26 年度 RI テーマ
「よいことのために 手を取りあおう」
RI 会長 フレンチエスコ・アレツツオ

Rotary
門真ロータリークラブ

4 DECEMBER 2025 No. 2572

2025年11月20日 例会報告
第2571回例会

次回例会 12月 11日 (木)
卓話 「初心に帰って」
藤田 正明 会員

□ 出席報告

会 員 数 (出席免除会員 2名含)	21名
名 誉 会 員	3名
本 日 の 出 席 (出席免除会員 1名含)	15名
欠 席	6名
出 席 率	75.00%
10月 23日の出席(出席免除会員 1名含)	11名
メーフィヤップ後結果	14名
出 席 率	70.00%

□ ニコニコ箱

濱中 早苗 会員 今日来た失敗によせて
藤田 正明 会員 ボウリング大会 3位になった喜びに
保田 晃宏 会員 卓話の喜びに
〃 〃 ロータリー出席の喜びに

□ 会長挨拶

皆さんこんにちは。
朝晩めっきり寒くなきましたね。
でも、よくチラシ等で『紅葉狩り』と
書かれた旅行会社の案内を目にするの
ですが、ついこの前まで「暑い暑い
～」と言っていたのに、え? 紅葉!? と。違和感があり、なんか身体がイマイチ反応しません。先日の新聞
に衣料品の大手企業の記事があり、最近は日本の四季、ではなく五季と言う季節物の服を作っていると書
いてありました。なぜならば、ファッションに敏感な

辻岡会長



□ 幹事報告

- 先週もお伝えしましたが、来月 12 月 4 日(木)例会時、次年度 理事・役員決定のための年次総会を開催致しますので皆さまご出席くださいますようお願いいたします。
選挙の方法は、クラブ細則により理事会をもって指名委員会となります。
- 第 2660 地区 RC クラブ対抗チャリティボウリング大会の結果報告
・決勝戦日程 : 11 月 15 日 (土) 10 時～

玄野幹事



□ 卓話 「日本と中国の歯科事情についてお話をしたい。」 保田 晃宏 会員

日本は昭和23年歯科衛生士法が施工されて、診療補助、歯科衛生指導、歯科医師の直接の関与がなくとも指導、研修を経て、局所麻酔の施術まで可能になった。一方中国は、2024年5月に習近平国家主席の指示のもと「歯科衛生士」が確立されたところである。それに伴い専門学校を設立し始めた。中国国内の歯科医師はメンテナンス等を含めた歯科衛生士の管理に右往左往しているところである。そのような中、中国国内の旅行会社・インプラントメーカーが日本で医療ツアーを企画立案し当法人に打診をしてきた。当初は80人に対しての講演・医院見学セミナーであったが、募集をかけたところ、160人になったというところからも興味を持っていることがよく伝わる。詳しく事前に情報を確認したところ、中国にも保険制度があるとのことである。

省ごとに変わりがあるが、例えば、月額3万円以下の治療費は全額自己負担、3万円～200万円までは3割負担というような上限下限制度を設けているとのことである。絶妙な経済統制である。実際に肺がんになった方で自死の道を選ぶ方も少なくないと聞く。

又、インプラントの値段等も国家が指定した金額を上回ることはできない。興味深いことに値段はより下げる競争をすることである。当局に目を付けられないようにするようだ。

又、日本に留学を希望する中国の学生の相談を受けていたが（300人程度）昨今の高市早苗首相の発言で現在は中断している。

又、機会を見て、中日両国に役立つことができればチャレンジしてみたいものである。



□ 第2回情報集会 R情報・規定委員会 藤田委員長

本日の内容は、門真ロータリークラブの今年度の活動内容の共有および今後の方針の意見交換です。活動内容をまとめると、①奉仕活動は主に門真市および門真市民に向けて実施されている。②加えて門真市の活動に会員の協力や支援が行われている。③地区委員会やボウリング大会参加など地区行事に積極的に参加している。④地区で開催される各種委員会の参加も進んでいる。⑤クラブ内のコストダウン計画が具体的に立案され実行され成果が出ており奉仕活動の支援となっている。⑥台湾の南波RCとの国際交流例会は多くの台湾からの参加も頂き会員全員の協力で国際奉仕活動として満足頂けた。

以上のことから、今年度の活動は会員の皆さんの協力と努力により上半期は計画どおりに進んだ。

今後は、懸案である会員増強やそれに繋がる奉仕活動の充実および広報などの認知活動が重要であることから参加された会員皆様のご意見を頂き議論した。以下にそのエッセンスを記述する。

皆さんからのご意見や議論内容は、①コストダウンについてはデメリットも伴うためよく内容を見て行くことが大事。②バレーボール大会は大きな成功であったが門真市以外の参加も多く、事前の案内や広報に工夫が必要。③門真市の広報は月一回であり、門真市の各学校のクラブを通して案内し認知してもらうなどいろんな手段が必要。④またバレーボール教室での体育館の日程確保など門真市や市民団体との連携が必要。⑤門真市向けの活動はクラブが主体的に実施するものや門真市の活動に協力するものなどメリハリが必要。⑥周年行事はそれによって会員がまとまるうことになり、内部だけでも実施やそれに向けた準備することが大事。⑦クラブや会員の「キャラクター付け」を考えて、「門真RCと言えば・・・」というように認知度向上に繋がることも必要。⑧門真RCの紹介チラシ作りやコストダウンに向けての仕事の見直しなど活動を続けることが大事。

以上のように皆さんから建設的なご意見が多く出てきたので、今後理事会やクラブ内での活動で具体策を検討していきたい。

＊＊＊ 例会スナップ ＊＊＊





決勝大会 第3位 おめでとうございます



クラブ対抗チャリティボウリング大会

